

第5次中期経営計画と連動した重要課題（マテリアリティ）の進捗

当社グループは、「Vision2030」の実現に向け、その羅針盤となる6つのマテリアリティを、第5次中期経営計画の基本方針である「変革への挑戦」と「リージョナル経営の推進」を通じて着実に実行しています。事業を通じた社会価値創造と、それを支える強固な経営基盤について、2050年の最終目標から逆算した足元の実績とともに、この間の取り組みを報告します。

事業を通じた社会価値の創造

重要課題1 表面改質技術による豊かな社会の創出

最終目標(2050年)	2025年度実績
CO ₂ 抑制貢献度※ 1.00 / 1,000	0.79 / 1,000

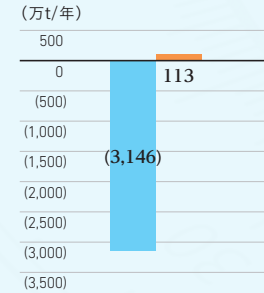
取り組みハイライト

表面改質技術による部材の長寿命化が、環境負荷低減のカギとなるため、新設した新総合技術研究所を中心に次世代プロセス技術の研究開発を推進しています。世界全体のCO₂排出量が過去最高の約381億tに達する中、当社の技術を通じて年間約3,146万tのCO₂削減に貢献しています。

※ CO₂抑制貢献度とは、当社グループ独自の環境指標です。世界全体のCO₂排出量を1,000とした場合に、当社グループの表面改質技術によるCO₂削減貢献量(Scope4)から、事業活動に伴うCO₂排出量(Scope1・2・3)を差し引いた実質的な削減貢献量が、世界全体のCO₂排出量に占める割合を示しています。

➡ 詳細ページ: P32「変革への挑戦」新総合技術研究所
P63「事業を通じた脱炭素化に向けた挑戦」

CO₂削減貢献量



■ CO₂排出量 (Scope1・2・3)
■ CO₂排出量削減貢献量 (Scope4)

重要課題2 高付加価値の製品・サービスを世界のお客さまに

最終目標	中期目標(2025年)	2025年度実績
全拠点で「優良水準」の品質管理体制を確立	国内6工場の抜き打ち監査で、優良認定(80点以上)を獲得	100%

取り組みハイライト

国内6工場の工程監査(点検)で、優良認定(80点以上)獲得率100%を継続。標準化の徹底と「抜き打ち監査」の導入により、高い品質水準を維持しています。

優良認定(80点以上)獲得率



➡ 詳細ページ: P59「品質保証」

社会要請への対応

重要課題3 現場で働く人たちの安心・安全衛生の確保

最終目標(2030年)	2025年度実績
労働災害度数率 0.50 の達成	1.67

取り組みハイライト

「グループ全体の安全標準化」推進の一環として、2022年に策定した社内基準を関係部署との連携により大幅に見直し、2026年4月にグローバル対応版の「パーカーグループ安全基準」として刷新しました。

労働災害度数率



➡ 詳細ページ: P57「労働安全衛生」

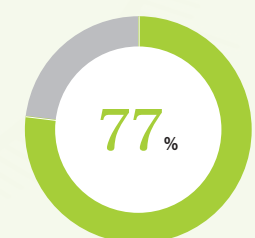
重要課題5 持続可能な社会の実現に向けた責任ある対応

最終目標(2050年)	中期目標(2030年)	2025年度実績
カーボンニュートラル達成 (Scope1 + 2)	GHG排出量 30% 削減/ 新たなGHG削減目標の策定 (進行中)	GHG排出量 50% 削減 (前倒し達成)/ 再生エネルギー由来電力比率 77%

取り組みハイライト

2030年度までとしていた中期目標を2024年度に前倒しで達成しました。Scope2の削減を目的として再生可能エネルギー由来電力への切り替えを推進しており、削減率は2024年度33%、2025年度77%に達しています。

再生エネルギー由来電力比率(単体)



➡ 詳細ページ: P63「事業を通じた脱炭素化に向けた挑戦」

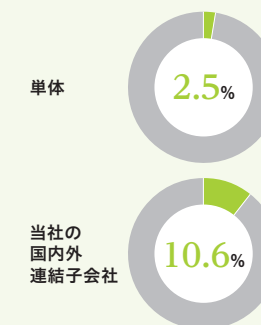
重要課題4 多様な価値観を尊重し“力”に変えられる企業文化の醸成

最終目標	2025年度実績
女性管理職比率 10%	当社国内外連結子会社合計 10.6% (当社単体: 2.5%)

取り組みハイライト

女性活躍の推進を事業成長と競争力強化を支える重要課題と位置づけ、2025年度は「えるぼし認定2段階目(2つ星)」を取得しました。グループ全体では目標の10%を達成した一方、今後は国内における女性活躍のさらなる推進と、意思決定の質向上に注力します。

女性管理職比率



➡ 詳細ページ: P53「成長戦略を支える人材基盤の強化」

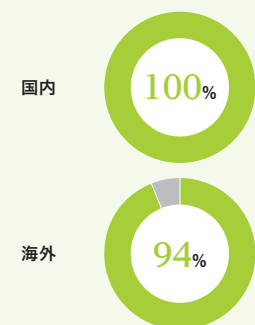
重要課題6 誠実な企業であり続けるための継続的な取り組み

最終目標	中期目標(2025年)	2025年度実績
グローバルにおいて内部通報制度の確立	グローバルにおいて内部通報制度の推進	国内 100% / 海外 94%

取り組みハイライト

国内は100%(15社/15社中)、海外は94%(17社/18社中)で制度を確立しました。未導入の1社についても人員規模に応じ、別制度の確立を進めています。

内部通報制度の確立



➡ 詳細ページ: ホームページのコンプライアンスへ

